

<https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/20220330.html>

電子メールでの提出時、機構より自動配信にて【受信完了のご連絡】メールが届きます。宛先のアドレス間違いもなく自動配信メールが届かない場合には、提出期限（時刻）までにその旨をお電話で03-5226-6608まで必ずご連絡くださいますようお願い致します。提出期限までにご連絡がなく、機構がプロポーザルを受信できていなかった場合は、該当のプロポーザルは評価対象と致しかねます。

なお、個人の資格で競争に参加する場合、簡易プロポーザル提出5営業日前までに所定の競争参加資格審査申請書の提出が必要です。

◇ 評価結果の通知：2024年10月4日（金）までに個別通知
提出されたプロポーザルをJICAで評価・選考の上、契約交渉順位を決定します。

◇ 評価結果説明の取り止め：2023年6月30日のお知らせに掲載
（<https://www.jica.go.jp/about/announce/information/consultant/2023/20230630.html>）のとおり、2023年7月以降の単独型公示については評価結果の説明を取り止めます。

4. 簡易プロポーザル評価項目及び配点

- (1) 業務の実施方針等：
- ① 業務実施の基本方針 16点
 - ② 業務実施上のバックアップ体制 4点
- (2) 業務従事者の経験能力等：
- ① 類似業務の経験 40点
 - ② 対象国・地域での業務経験 8点
 - ③ 語学力 16点
 - ④ その他学位、資格等 16点
- (計 100点)

類似業務経験の分野	各種評価調査
対象国及び類似地域	ホンジュラス及び全途上国

語学の種類	英語（西語ができることが望ましい）
-------	-------------------

5. 条件等

（１）参加資格のない社等：応募を排除する者はありませんが、本調査を受注した法人及び個人（補強所属元企業含む）は、当該技術協力プロジェクト等事業本体への応募・参加を認めません。

（２）必要予防接種：特になし

6. 業務の背景

ホンジュラス政府は国家水道・衛生協議会（以下、「CONASA (Consejo Nacional de Agua Potable y Saneamiento)」という。）の主導の下、2014年に国家水道・衛生セクター政策を策定した。この国家政策に基づき国家水道・衛生計画（以下、「PLANASA (Plan Nacional De Agua Potable Y Saneamiento) 2022-2030」という。）が作成され、その中で7つの新しいセクター戦略目標とそれぞれの行動計画が策定された。その戦略の一つに包括的な水資源管理があり、その下で無駄な水の削減や持続的な飲料水の提供のための施設整備等に取り組んでいる。

テグシガルパはホンジュラスの首都であり、フランシスコ・モラサン県の中央地区（Central District Municipality）に位置する。テグシガルパ首都圏における給水需要は35万m³/日（2022年）であるが、雨季と乾季の給水量はそれぞれ約20万m³/日、13万m³/日に留まり、給水時間は3～5日に1回、12～15時間程度に限られる等、給水状況は深刻である。急速な人口増加に伴い2038年の給水需要は42.5万m³/日に達する見込みであり、給水状況のさらなる悪化が懸念されている（2022年JICA基礎情報収集・確認調査）。

テグシガルパ首都圏の水道・衛生サービスは、2022年4月までは国家水道・下水道公社（以下、「SANAA (Servicio Autónomo Nacional de Acueductos y Alcantarillados)」という。）が担当していたが、2022年5月以降は中央地区の組織である上水衛生局（以下、「UMAPS (Unidad Municipal de Agua Potable y Saneamiento)」という。）が担当している。テグシガルパ首都圏において給水量が需要に追いつかない理由は、第一に利用可能な水資源量が限られることにあるが、送配水施設の老朽化や不適切な運営維持管理も大きな原因となっており、老朽化した施設からは漏水が多発している。約12万件ある給水接続先の水道メータ設置率は約半数と低く（2023年時点）、また故障や盗難もあり機能している水道メータは28%に過ぎない。結果、無収水率は32.9%（2016～2020年の平均値）と高い状態である。

こうした状況を踏まえ、JICAは送水管や送水ポンプ、配水管網等の更新、水

道メータの調達と設置等を目的とした有償資金協力「テグシガルパ上水道改善事業」をテグシガルパ首都圏の西部地域を中心に実施予定である（2024年12月に円借款貸付契約を締結予定）。並行して、同首都圏の東部地域では米州開発銀行（以下、「IDB」という。）が、配水タンクや配水ネットワークの更新、水道メータの調達を実施する予定である。また、世界銀行も北部を中心に浄水場やダム、配水管網の更新等の支援を実施中である。

テグシガルパ首都圏では水道施設整備が進むが、これらの運営維持管理を適切に行い、限られた水資源を有効に活用してテグシガルパ首都圏の給水状況を改善するためには、適切な顧客管理や施設情報の整理、漏水対応等を含めた無収水対策についての知見や技術等について、UMAPSの一層の強化が必要である。こうした背景を踏まえ、ホンジュラス政府はUMAPSの水道事業実施能力の強化について我が国に技術協力を要請した。

本詳細計画策定調査では、対象地域の課題や関係諸機関の能力、役割分担を確認し、プロジェクトの実施体制を検討するための情報を分析・整理した上で、プロジェクトの内容を提案・協議するとともに、その実施体制及び活動内容について確認・協議し、プロジェクトに関わる合意文書締結を行う予定である。

7. 業務の内容

本業務従事者は、技術協力プロジェクトの仕組み及び手続きを十分に把握の上、他の調査団員として派遣されるJICA職員等と協議・調整しつつ、担当分野に係る協力計画の策定及び評価6基準（妥当性、整合性、有効性、インパクト、効率性、持続性）に基づく事前評価に必要なデータ・情報を収集・整理するとともに、協力計画策定のために必要な以下の調査を行う。なお、JICA事業評価における評価基準・手続きについては監督職員より情報提供を行う。具体的担当事項は次のとおりとする。また、本業務従事者は、他の課題を担当業務とする業務従事者が作成する報告書（案）を含めた報告書（案）全体の取りまとめに協力する。

（1）準備業務（2024年10月下旬）

- ① 要請書・関連報告書等の資料・情報の収集・分析により要請背景・内容を把握し、我が国及び他援助機関のこれまでの協力状況・成果・課題も確認する。
- ② ホンジュラス側関係機関や他ドナー等に対する質問票（案）（英文）を作成する。その際、別途派遣される他分野の団員と内容が重複しない

よう適宜調整し、他団員が作成した質問票（案）との取り纏めに協力する。作成した質問票（案）は、現地派遣前にJICAに提出する。

- ③ プロジェクトのPDM (Project Design Matrix) 案、PO (Plan of Operations) 案を検討する。
- ④ 調査団内の打合せ、対処方針会議等に参加する。

(2) 現地業務 (2024年11月中旬～2024年11月下旬)

- ① JICAホンジュラス事務所等との打合せに参加する。
- ② ホンジュラス側関係機関との協議及び現地調査に参加する。また、他分野の団員と協力し、議事録を作成する。
- ③ 事前に配付した質問票への回答や上記②を通じ、情報・資料を収集・整理し、現状・課題を把握・分析する。具体的には以下のとおり。
 - ア) 要請背景・内容
 - イ) 関連する開発計画、政策、制度
 - ウ) 関連各組織
 - (a) 所掌業務、組織体制、根拠法
 - (b) 人員体制
 - (c) 役割分担
 - (d) 予算規模、内訳、予算獲得・配賦の仕組み
 - エ) 本プロジェクトに関連するJICA及び他援助機関（IDB、世界銀行等）の活動動向、連携の可能性
- ④ ジェンダー主流化についての検討。具体的には以下のとおり。
 - ア) ジェンダー分析
 - (a) 上水分野におけるジェンダーに関連した法令、政策、計画等
 - (b) 実施機関のジェンダー主流化の方針、体制、取組、女性技術者の雇用・育成・能力レベル、他機関との連携等
 - イ) R/D（案）等の基本合意文書でのジェンダー視点に立った取組の検討
 - ウ) ジェンダーの視点に立った取組の指標の検討、それを踏まえた事業事前評価表（案）を作成とその取りまとめへの協力
- ⑤ 調査結果に基づき、本プロジェクトの実施案（PDM（案）、PO（案）、実施体制、討議議事録（R/D : Record of Discussions）及びその他添付資

料)を他分野の団員とともに検討する。

- ⑥ 関係者との協議で合意された内容について、R/D(案)及び協議議事録(M/M: Minutes of Meetings)(案)の作成に協力する。特に、PDM(案)の成果指標の設定について、開発課題別の指標例及び代表的教訓レファレンス¹を踏まえ、主担当としての検討及び取りまとめを行う。
- ⑦ 実施機関に対するR/D(案)を含むM/M(案)の説明に参加し、必要に応じて内容の説明、補足を行う。
- ⑧ 担当分野に係る調査結果をJICAホンジュラス事務所等に報告する。

(3) 整理業務(2024年11月下旬~2024年12月中旬)

- ① 報告会、打合せに出席し、担当分野に係る調査結果を報告する。
- ② プロジェクトを巡る状況分析や評価6基準の観点から、リスク管理チェックシート(案)に必要な情報を他分野の団員とともに取りまとめる。
- ③ 評価6基準の観点からプロジェクトを分析し、事業事前評価表(案)を作成し、その取りまとめに協力する。
- ④ 担当分野にかかる詳細計画策定調査報告書(案)を作成するとともに、他の担当分野の業務従事者が作成する報告書(案)を含めた全体の取りまとめに協力する。

8. 報告書等

業務の実施過程で作成、提出する報告書等は以下のとおり。なお、報告書を作成する際には、「コンサルタント等契約における報告書の印刷・電子媒体に関するガイドライン」を参照願います。

(1) 業務完了報告書

2024年12月13日(金)までに提出。

次の①~②、及び収集資料一式を添付し、電子データにて提出する。

- ① 事業事前評価表(案)(和文・英文)
- ② 担当分野に係る詳細計画策定調査報告書(案)(和文) ※他の課題を担当業務とする業務従事者が作成する報告書(案)を含めた報告書(案)全体の取りまとめに協力する。

¹ [技術協力 開発課題別の指標例及び代表的教訓レファレンス | 事業評価 | 事業・プロジェクト - JICA](#)

9. 見積書作成に係る留意点

本公示の積算を行うにあたっては、「コンサルタント等契約における経理処理ガイドライン（2023年10月（2024年7月追記版））」の「X I. 業務実施契約（単独型）」及び「別添資料2 報酬単価表」を参照願います。

<https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/quotation.html>

留意点は以下のとおりです。

（1） 航空賃及び日当・宿泊料等

航空賃及び日当・宿泊料等は契約に含みます（見積書に計上して下さい）。

効率的かつ経済的な経路、航空会社を選択いただき、払戻不可・日程変更不可等の条件が厳しい正規割引運賃を含め最も経済的と考えられる航空賃を見積もってください。

10. 特記事項

（1） 業務日程／執務環境

① 現地業務日程

現地業務は2024年11月12日～11月28日を予定しています。

JICAが別途契約するコンサルタント「水道計画/無収水管理」は本業務従事者より先に現地調査を開始する予定です。

② 現地での業務体制

本業務に係る調査団構成は、以下のとおりです。

ア) 総括（JICA）

イ) 水道事業経営（JICA）

ウ) 水道サービス（JICA）

エ) 水道計画/無収水管理（JICAが別途契約するコンサルタント）

オ) 評価分析（本コンサルタント）

③ 便宜供与内容

JICA ホンジュラス事務所による便宜供与事項は以下のとおりです。

ア) 空港送迎：あり

イ) 宿舎手配：あり

ウ) 車両借上げ：全行程に対する移動車両の提供（JICA職員等の調査期間については、職員等と同乗することとなります。）

エ) 通訳備上：あり。日本語⇄スペイン語の通訳を提供。質問票（案）及び R/D（案）等を英文で作成する場合は西語への翻訳を JICA 側で担当します。

オ) 現地日程のアレンジ：JICA がアレンジします。

カ) 執務スペースの提供：なし

(2) 参考資料

① 本業務に関する以下の資料を JICA 地球環境部水資源グループ水資源第二チームから配付しますので、gegwt@jica.go.jp 宛にご連絡ください。

- ・クラスター事業戦略進捗モニタリングシート/水道事業体基本チェックシート（2023年作成）

② 本業務に関する以下の資料がウェブサイトで公開されています。

- ・ホンジュラス国 テグシガルパ上水事業に係る情報収集・確認調査 [有償勘定技術支援] ファイナル・レポート

https://libopac.jica.go.jp/images/report/12367041_01.pdf

https://libopac.jica.go.jp/images/report/12367041_02.pdf

- ・ Republic of Honduras, preparatory survey for Tegucigalpa water supply improvement project : final report : (advanced version)

<https://libopac.jica.go.jp/images/report/12384269.pdf>

- ・ JGA「持続可能な水資源の確保と水供給」、クラスター事業戦略「水道事業体成長支援」

https://www.jica.go.jp/Resource/activities/issues/water/ku57pq00002cybbn-att/business_strategy_01.pdf

(3) その他

① 業務実施契約（単独型）については、単独（1名）の業務従事者の提案を求めている制度ですので、複数の業務従事者によるプロポーザルは無効とさせていただきます。

② 現地業務期間中は安全管理に十分留意してください。現地の治安状況については、JICA ホンジュラス事務所などにおいて十分な情報収集を行うとともに、現地業務の安全確保のための関係諸機関に対する協力依頼及び調整作業を十分に行うこととします。また、同事務所と常時連絡が取れる体制とし、特に地方にて活動を行う場合は、現地の治安状況、移動手段等について同事

務所と緊密に連絡を取る様に留意することとします。また現地業務中における安全管理体制をプロポーザルに記載してください。また、契約締結後は海外渡航管理システムに渡航予定情報の入力をお願いします。詳細はこちらを参照ください。

<https://www.jica.go.jp/about/announce/information/common/2023/20240308.html>

- ③ 本業務の実施にあたっては、「JICA 不正腐敗防止ガイダンス」(<http://www2.jica.go.jp/ja/odainfo/pdf/guidance.pdf>)の趣旨を念頭に業務を行うこととします。なお、疑義事項が生じた場合は、不正腐敗情報相談窓口またはJICA担当者に速やかに相談してください。
- ④ 発注者、受注者との間で業務仕様書に記載された業務内容や経費負担の範囲等について理解の相違があり発注者と受注者との協議では結論を得ることができない場合、発注者が受注者のいずれか一方、もしくは両者から、定められた方法により「相談窓口」に事態を通知し、助言を求めることができます。
- ⑤ 本業務については先方政府側の対応次第で、渡航時期及び業務内容が変更となる場合も考えられるため、具体的な渡航開始時期等に関してはJICAと協議の上決定します。
- ⑥ 公示内容の更なる質の向上を目的として、競争参加いただいたコンサルタントの皆様からフィードバックをいただきたいと考えています。つきましては、お手数ですが、ご意見、コメント等をいただけますと幸いです。具体的には、選定結果通知時に、入力用 Forms をご連絡させていただきますので、そちらへの入力をお願いします。

以上